

職員による自己評価

A環境面

・人数や活動の内容によっては狭さを感じることもある。また、やむを得ないが2階のため階段を上がらないといけない。

・送迎等状況によっては職員数が足りないという声もある。

B児童への支援内容

・活動の計画をチームで行い、内容も固定化しないように工夫されている。

・打合せ、振り返り、日々の記録はできているが、途中評価やきめ細かな支援については課題点。

C関係機関との連携

・学校との連携、担当者会議の参加は昨年引き続き良く、協議会の参加は昨年より改善されている。

・就学前の園や事業所との連携、障がいの無い子との関り医療関係との連携は少ない。

D保護者への説明責任・信頼関係

・日頃の状況を伝え合うことや定期的な会報誌の発行はできている。

・ペアレントトレーニング、定期的な保護者会の実施、地域の方との交流の機会は改善が必要

E非常対応

・訓練の場はあるが、マニュアルの周知は足りていない。

保護者による評価

A環境面

・活動のスペース、職員の配置数・専門性は適切。バリアフリー化は課題点。

B児童への支援内容

・活動や計画については指示していただいている回答が多く「お休みした日は残念そうしている」「外出は喜んでいる」という声もあったが「通所を楽しみにしているか」で「いいえ」の回答が2つあった。

・障がいの無い子どもとの関りは「外出先で行われている」と昨年よりも知ってもらえている声もあるが、反対に「知らない」という意見もあり、必要性や周知の仕方と合わせて検討する。

C事業所からの情報発信

・今年度、保護者会を開催し感謝の声もあるが、定期的にはできておらず「必要としていない」という意見もある。

・支援内容や利用者負担の丁寧な説明、個人情報の扱いや保護者との連絡・相談対応はできていると評価されている。

D非常対応

・訓練の実施は知ってもらえているが「契約時に受けたが、細かい内容は把握できていない」という意見もあり、マニュアルの詳細なお知らせが必要。

事業所内での分析

【共通点】

- ・プログラムが工夫や個人情報の注意はできている。
- ・日頃の子どもの様子を伝え合い、現在の状況や課題点の共通理解もできている。また伝え方についての配慮も適切。
- ・障がいのない子どもと関わる場がない。
- ・保護者会の実施頻度や周知不足。また、緊急時のマニュアルも周知が足りていない。

【相違点】

- ・職員の配置数の認識。
- ・デイサービスの計画について保護者の方からは支持してもらっているが、職員は善点があると思っている。
- ・支援についても保護者の方からは満足の声が多かったが、職員はガイドラインや個別・集団の組み合わせ、平日・休日のきめ細かな課題設定はまだだと認識。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・活動スペースが十分
- ・日頃の保護者の方との連絡体制ができているので、育児に関する悩みや相談を聞き、保護者の方と一緒に考えて支援を行い共通理解に繋がられている。
- ・子どもたちに満足してもらえるようにプログラムに工夫している。
- ・個人情報や日々の記録の重要性への意識が高い。
- ・職員の連携が昨年度よりも強化され、支援についての向上心も上がってきている。

事業所の改善点

- ・障がいのない子どもとの関わる場が少ない。また、できていても偶発的な場合が多い。
- ・保護者会はニーズの確認、定期的な頻度を行うことができていない。
- ・緊急時などのマニュアルの周知不足。
- ・全体的に「どちらともいえない」の回答が昨年度よりも増え、上記のマニュアル同様に詳細な発信が足りていない。

事業所の改善への取り組み

- ・障がいのない子どもや地域の方々との関わりを増やすために、地域のイベントに参加する。また、地域資源を活用した活動の実施。
- ・「年に2回」など平日や学校休業日などたくさんの方が参加できるように開催時期を決めて保護者会を開催する。事前に「どのようなことを保護者同士で話したいか？」聞き取りも行う。
- ・緊急時のマニュアルを書面でお知らせ。改定や変更があった時はその都度知らせる。
- ・お便り、連絡帳、送迎の引継ぎ時に詳細に日々の様子をお伝えする。また「Instagram」「会員制ページ」の案内も改めて行う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も日々の支援へのご理解、事業所評価の記入のご協力誠にありがとうございます。昨年度よりも回答数が増え、一人でも多くの方のご意見が伺うことができました。活動プログラムは支持していただいているご意見も増えて「昨年度の改善できている」と職員の自信になりました。「マニュアルの周知」については昨年も改善点でしたが、今年度も同じような結果となり早急な修正を行います。保護者の皆様との連携をさらに強化し、子どもたちの成長に繋がる支援を行っていきます。その為にも「保護者会の実施」や「情報の発信」に来年度は積極的に取り組んでいきます。

事業所名 放課後等デイサービスクリームソーダ単位1 (小学部)

担当者 山本 洋平